

2022年5月6日

投資家の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)」(以下、「ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ ファンドの基準価額

ファンド名	2022年 5月2日 基準価額(円)	2022年 5月6日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
通貨プレミアム・コース	2,147	2,014	▲133	▲6.19
円ヘッジ・コース	3,039	2,853	▲186	▲6.12

(騰落率は小数点第3位四捨五入)

◆ 市況情報

	2022年4月28日	2022年5月2日	騰落率 (%)
iシェアーズ 米国不動産 ETF	108.76	101.19	▲6.96

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、4月28日と5月2日と比較しています。

	2022年4月28日	2022年5月2日	騰落率 (%)
米ドル(対円レート)	131.01	130.24	▲0.60

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、4月28日と5月2日と比較しています。  
為替レートはWMロイター社が発表するロンドン時間午後4時のレート(単位:円)です。

出所:ブルームバーグ

**◆足許の状況**

3月のシカゴ連邦準備銀行全米活動指数や4月のダラス連邦準備銀行製造業景況指数および足許の住宅関連指標などが揃って悪化したこと、1-3月期の米雇用コスト指数が市場予想を上回り過去最大の伸びとなったこと、米主要IT企業の決算が低調な内容だったことなどを受けて、米国経済の先行きに懸念が高まる中、FRB(米連邦準備制度理事会)による急速な利上げと量的引き締めへの警戒感が強まり、米長期金利が上昇したことなどを材料に、米国リート市場は大幅に下落しました。このような市況の下、ファンドの基準価額が前営業日比で大幅に下落しました。

**◆今後の見通し**

米国を含め世界経済の先行きに対する不透明感やFRBによる急速な金融引き締めへの懸念などから、米国リート市場は当面変動性の高い展開が続くと想定されます。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大によって停滞していた経済活動が再開し、事業環境が改善するとともに、配当水準も底打ちして回復へと向かっており、業績面から米国リート市場の魅力は継続すると考えます。また、世界経済の減速に対する懸念の一因となっているインフレに関しては、同市場は事業の特性上から相対的に高い耐性を持っていると思われます。当面は、FRBによる急速な金融引き締めへの警戒が続くものの、中長期的な観点では、人手不足による物流関連の需要増加、情報通信技術の発展等に伴う通信インフラ、データセンター需要の拡大などが期待され、米国リート市場は底堅く推移すると見込んでいます。

以上

※ iShares®(iシェアーズ®)はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コース/円ヘッジ・コース」について出資、発行、保証、販売及び販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コース/円ヘッジ・コース」への投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディング及び販売に関して、一切責任を負うものではありません。

当資料はT&Dアセットマネジメントが投資家の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

### 投資信託のお申込みに際してのご留意事項

#### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

#### 投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.40%(税込)

信託財産留保額・・・上限 解約金額・償還金額の 0.55% または1口(設定時1口1万円)あたり 250 円

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 年 1.98%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

#### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。